

もん ・ もん ・ もん

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成26年 8月 30日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

あのね、お参りしたよ・・・

平成26年度 **初参式**

去る6月1日、平成26年度の「初参式」が行われました。

8人のかわいい子どもさんが参加して下さいました。ありがとうございました。とてもお利口で家族の方と一緒に参りできました。お子さまの今後の健やかな成長を心より念じます。



ひだか とあ

ひだか れな

日高翔愛くん

日高怜愛さん

前列左側より

おきしまゆうた

みやざきかいと

つのだゆづき

はやしりゅうき

冲嶋結太くん

宫崎海渡くん

角田結月ちゃん

林 隆輝くん

まえださえ

まえだりの

こじま れい

こじま うしお

住職

(前田咲衣) さん **前田璃乃ちゃん**

小島 礼ちゃん

(小島宇汐) くん

最近お誕生のお子様へ・・・来年はぜひどうぞ。お待ちしております。

2014 神岳保育園 かすみ草の会 夏のつどいバザー出店！

夏の行事、今年も保育園の「夏のつどいバザー」に出店参加。年々フルーツポンチは大好評。用意した150食は完売しました。昨年より出店のそうめんも好評です。すてきな数々の手作り品、物品バザーへのご協力もありがとうございました。小倉祇園太鼓や少し日が落ちると提灯を明りにして盆踊りは盛り上がりです。園児らはたくさんの拍手を頂いて笑顔が輝いて見えました。沢山の温かいご協力を頂いて今年も夏が終わります。ありがとうございました。



光は願いとなって

天岸浄円

浄土真宗のキーワードに、「本願」ということばがあります。仏さまの「願い」ということです。

「願い」は、満足な状況からは起こりません。「なんとかしたい」。また「なんとかやりたい」という、不思議を感じるころからおこります。

「本願」が仏さまの願いならば、その願いの対象は「わたし」でした。仏さまが「わたし」をごらんになられたとき、そこは願わずにはおられない「わたし」がありました。「わたし」を見極める確かな目は、「わたし」を超えたところにあつたのです。

「わたし」は自分自身では完全なつもり、しかし、仏さまは、ほっておけない危機的状況と映つたのです。それは「生」を軽んじ、「死」を無視し、《いのち》の実態を無視した、無自覚な姿だったので。

かけがえのない人生を、思い出もなく、実りもなく、生き流れていく日々の「生」。そして、やがて将来、こちらの都合とは関わりなしに訪れる「死」。それは、いかに拒絶しようとも、受けとめざるを得ないむなしさの極致です。そんな無残な姿で終わっていく「生」と「死」。これに実りと意味をあらしめねば……。それが仏さまの「願い」の根源でした。仏さまは、その「願い」を「念仏往生の本願」と名づけられました。

「わたし」を超えて、「わたし」以上に、深く重くかけられた「願い」のあることを感知し、仏さまを仰ぎ、み名を称えつつ、さとりの世界へと生きて行く、それを念仏者といひます。仏さまに念ぜられ、仏さまを念じつつ生きる、自覚者ともいひましょう。

彼岸……。それは亡き人を「縁」として、人生の「オモサ」を実感し、再確認する日であればなりません。

ご 案 内

秋 季 彼 岸 法 要

と き 平成 26 年 9 月 15 日より 16 日まで

	15日(月)	16日(火)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

講 師 行橋市 善照寺 住職

本願寺派布教使 高岡 昭信 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

26年8月 お盆参り

長女・次女・三女がお盆参りにお伺いし、お世話になりました。温かく迎えて下さったことに感謝致しております。みんなでお取次ぎできたことがありがたいことでした。

どうぞこれからも、よろしくお願い致します。



神岳保育園創立80周年記念事業開催

2014 思い出まつり・夢まつり

「子どもたちへの恩返し・アンパンマンがやってくる!」

日 時 10月26日(日) 11:00~14:00

会 場 神岳保育園園庭・保育室

内 容 アンパンマンショー・握手会 保育園児演技その他ゲーム大会等

混雑が予想されます。車での参加は厳禁、又近隣に駐車しないようお願いいたします。

記念事業協賛金 105,000円 申込受付中(正善寺に連絡可)

納骨堂掃除・彼岸法要準備会

9月12日(金) 10:00より15:00まで

本堂の荘厳(おかざり)、納骨堂の掃除

たくさんの皆さんのお手伝いをお待ちしています。

短い時間でもかまいません。

よろしくお願いします。昼食用意しています。

第80回

かんたけほいくえん

うんどうかい

とき 9月28日(日)

9:30より

ところ 寿山小学校運動場

雨天時 体育館で行います

見に来てねえー

次回の法要のご案内

親鸞聖人御正忌

報恩講法要

【とき】 平成26年11月

昼席 13時30分

21日(金) 昼席のみ 22日(土) 昼席のみ 23日(日) 昼席のみ

おとき 23日(日) 12時より

【講師】 大分県宇佐市 崇福寺前任職 本願寺派布教使 前田賢聖師

浄土真宗の一年でもっとも大切な法要です。家族みんなで参りましょう。

編集後記

日中は、まだまだ暑い日が続いていますが、朝の空気の中に秋を感じます。今年は天候も不順で皆様、お元気でお過ごしでしょうか？体調などくずしておられないでしょうか。ご無理なさいませんようにと念じております。

お盆にはたくさんの方々がお寺に足を運んで下さいました。ありがとうございました。私もお盆のすこし前、駆け足ですが、京都の本願寺様に、そして亡くなられた御門徒様ののど仏さまを納めさせて頂いている大谷本廟様にお参りに行きました。本願寺のご影堂では、お参りさせていただこうと座ろうと、いやいや、なんだか疲れはてた身体で座り込みそうに座ったら親鸞聖人様が、「あーよう来たね。待っていたよ」と語って下さるように、そこに居て下さいました。南無阿弥陀仏と何度と称えさせていただきながら、涙が出ました。涙の中から、みえてきたことは、阿弥陀様のあたたかいやさしさにつつまれていることが確かにうれしいことだねと自分の心が言っていたことでした。大谷本廟では、阿弥陀経のお経をあげさせていただきました。お参りを終えて、外に出ると、懐かしい百日紅の花と蝉の鳴き声が「がんばらんと」と後押ししてくれているようでした。うれしい時ですが、悲しい時、つらいとき、「あー、お寺を訪ねてみようか」と思っていただけのお寺にしていかなければと、京都を後にしながら思ったことであります。秋のお彼岸法要、どうぞお参り下さい。心よりお待ちしております。

称名